

浜田処理区下水道整備事業について

1. 浜田処理区（市街地）下水道整備事業の概算事業費について

この度、処理場基本設計が完了したことで、令和4年8月3日福祉環境委員会報告の概算事業費から、**約4億8千万円の増額**となる見込みですが、管路工事において国交付金が増額となり、市の実質負担額としては、**約9千万円の減額**となる見込みです。

2. 概算事業費比較表

(税込み) (単位：百万円)

項目	令和4年度概算	令和5年度概算	差額
管渠整備費	3,104	3,104	0
工事費	2,720	2,720	0
測量試験費	242	242	0
調査・事務費	142	142	0
処理場建設費	1,484	1,966	482
工事費	1,118	1,599	481
測量試験費*	121	111	▲10
用地補償費	191	191	0
調査・事務費	54	65	11
合計	4,588	5,070	482

※測量試験費 111 百万円のうち、詳細設計業務 66 百万円を9月議会に補正予算上程予定。

3. 増額の要因

項目	内容	増加額**
物価上昇	物価上昇及び機器費高騰による建設費の増加 物価上昇率は、国交省公表デフレーターより 12.1%を見込み、機器費高騰は、事業者見積より 5.5%を見込む。	約 358 百万円
浸水対策	造成（盛土）工事 V=7,610 m ³ 増加。 進入路工事 L=58m 増加。 令和4年度概算事業費は、基本設計未了のため具体的な浸水対策費用を見込むことが困難であったが、基本設計が完了し、浸水深さに対する建物計画と合わせた浸水対策が定まったため、造成（盛土）工事等を追加した。	約 124 百万円
合計		約 482 百万円

※増加額には、週休2日工事の割増率を見込む。

4. 事業費の財源内訳

(単位：百万円)

事業費	国交付金	起債 (過疎・下水道)	一般財源	合計
令和4年度概算事業費	1,803	2,688 (1,344・1,344)	97	4,588
令和5年度概算事業費	2,472	2,512 (1,256・1,256)	86	5,070
増減額	669	▲176 (▲88・▲88)	▲11	482

※令和4年度概算事業費の財源は中期財政計画に盛り込まれている。

財源内訳の増減理由

補助対象管路の増加	令和4年度概算事業費では、管路延長の70%を補助対象と見込んでいたが、島根県との協議の結果、管路延長の99%が補助対象となり、国交付金が増え、起債が減る調整を行った。
-----------	---

5. 市の実質負担額

交付税算入率を考慮した市の実質負担額は、下記のとおりです。

(単位：百万円)

	令和4年度概算	令和5年度概算	増減額
実質負担額	1,241	1,154	▲87

※交付税算入率：過疎債70%、下水道債45%として算出。

6. 今後の課題

(1) 効率的な整備への取組

管渠整備においては、公民連携手法（DB方式）を導入し効率的な整備への取組を行っています。また、処理場建設においても、民間事業者の優れた企画力・技術力を活用し、コスト縮減及び効率的な整備を進めます。

(2) 経営の効率化

令和4年10月に上下水道部の事務部門を統合し、令和5年10月からは上下水道料金の徴収一元化を予定しており、今後も更なる経営の効率化を目指します。

(3) 収入の確保

浜田処理区（市街地）整備にあたっては国交付金や有利な地方債を有効に活用します。さらに接続に対する支援策を検討し、早期の接続率向上を目指します。また、下水道事業全体について適正な料金水準を検討するとともに、接続率向上のための普及啓発を行います。

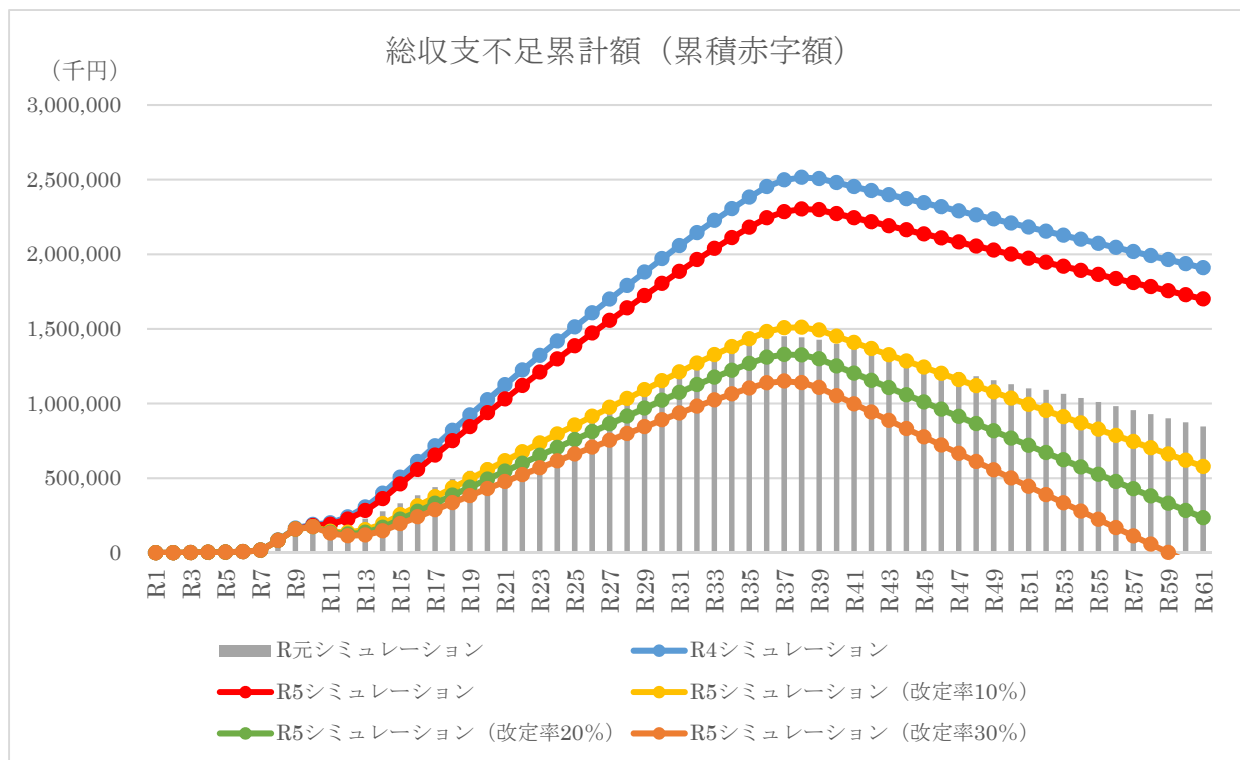
7. 経営シミュレーションについて

令和4年8月3日福祉環境委員会へ報告した、「浜田処理区下水道整備事業の経営シミュレーションについて」を基に、再度シミュレーションを行いました。

(1) 前提条件

	令和4年度	令和5年度
整備期間	令和元年度～令和9年度	同左
推計期間	令和元年度～令和61年度	同左
接続率	供用開始後10年目 61.4%	同左
総事業費	4,587,729千円	5,069,943千円
経営の効率化	令和10年度から職員1名減とし推計を行いました。	
料金改定	浜田公共下水道事業経営戦略で行った、料金改定シミュレーションを参考に、10%、20%、30%それぞれで推計を行いました。 なお、料金改定年度は令和11年度としています。	

(2) シミュレーション結果



	総収支不足累計額 (令和元年度～令和51年度)
令和元年度シミュレーション	1,101,399千円
令和4年度シミュレーション	2,181,241千円
令和5年度シミュレーション	1,972,757千円
令和5年度シミュレーション (改定率10%)	993,806千円
令和5年度シミュレーション (改定率20%)	719,148千円
令和5年度シミュレーション (改定率30%)	444,502千円

(3) モデルケースでの使用料の試算

ア) 4人世帯（大人2人・子供2人、使用水量 20 m³/月）での試算は下表のとおりです。

	現 状	改定率 10%	改定率 20%	改定率 30%
1 請求分 (2 ヶ月に 1 回)	6,050 円	6,655 円 (605 円)	7,260 円 (1,210 円)	7,865 円 (1,815 円)
1 年間 (6 請求分)	36,300 円	39,930 円 (3,630 円)	43,560 円 (7,260 円)	47,190 円 (10,890 円)

※改定後使用料＝現状×（1×改定率）とし試算しています。

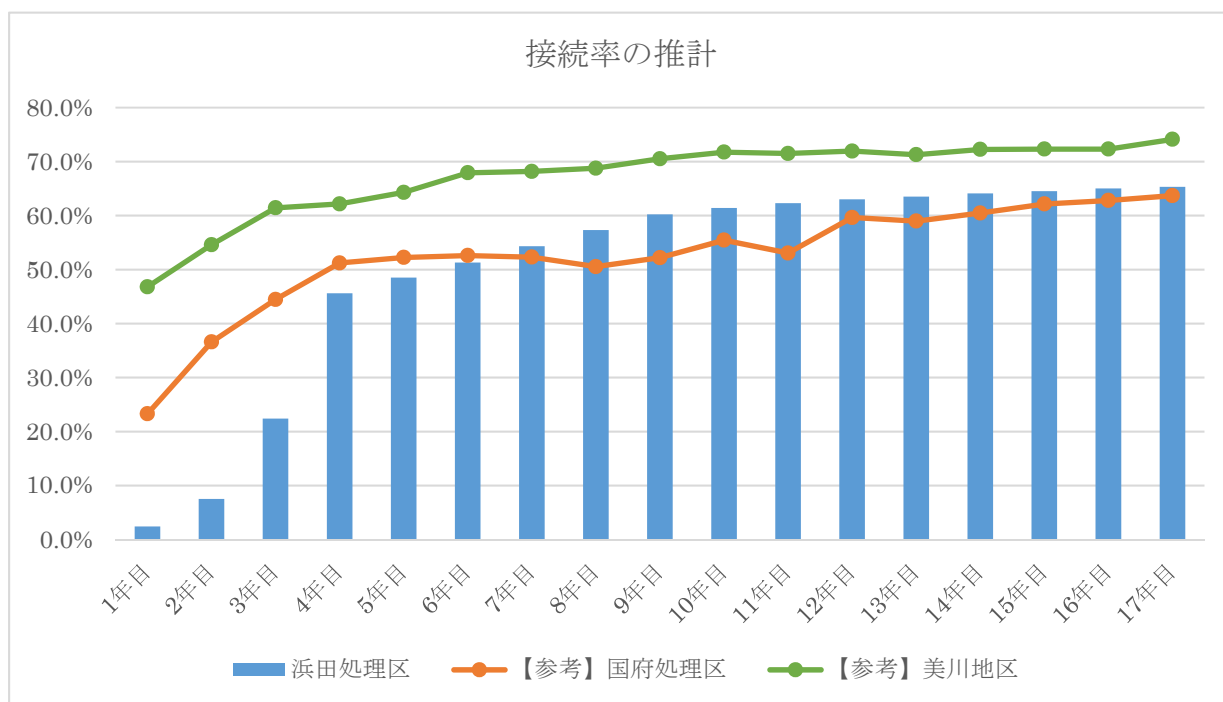
※（ ）の金額は、現状に対する増加額。

イ) 使用料改定の対象地域

既に下水道等が整備されている地域（浜田（国府、美川）、金城（雲城）、旭、三隅、弥栄地域）約 5,000 件^{*}に加え、今回整備する浜田処理区約 1,500 件^{*}の合計約 6,500 件^{*}（市内の約 2.5 割）を対象としています。

※件数：個人・事業所を含めた請求件数。

(4) 浜田処理区接続率の推計



※参考として浜田地域の他地区の接続率を折れ線グラフで示しています。

【接続率】	1 年目	5 年目	10 年目	15 年目	17 年目
浜田処理区	2.4%	48.5%	61.4%	64.5%	65.3%
国府処理区	23.3%	52.2%	55.4%	62.1%	63.7%
美川地区	46.8%	64.3%	71.7%	72.3%	74.1%